

令和2年度決算概要

令和2年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の決算について、9月定例会（9月1日開会）に提出し、議会の認定に付すものです。

一般会計の歳入決算額は、前年度から9.9%増の151億5,729万円となり、翌年度への繰越財源分を差し引いた純繰越額(実質収支)は、1,215万円の黒字となりましたが、財政調整基金を1億7,000万円取り崩す厳しい決算となりました。

■一般会計

会計	歳入	歳出	翌年度に繰越すべき財源	実質収支
一般会計	151億5,729万円	149億4,515万円	1億9,998万円	1,215万円

■特別会計

会計	歳入	歳出	翌年度に繰越すべき財源	実質収支	
宅地造成事業会計	0万円	0万円	0万円	0万円	
下水道会計	16億6,779万円	16億6,735万円	0万円	440万円	
農業集落排水会計	3,627万円	3,626万円	0万円	1万円	
介護保険会計	(事業勘定)	28億6,160万円	28億6,120万円	0万円	40万円
	(サービス勘定)	982万円	960万円	0万円	22万円
土地取得会計	39万円	5万円	0万円	34万円	
国民健康保険会計	(事業勘定)	23億8,299万円	23億4,589万円	0万円	3,709万円
	(直診勘定)	7,782万円	7,782万円	0万円	万円
後期高齢者医療会計	3億3,604万円	3億3,193万円	0万円	410万円	
財産区会計	9,651万円	1,264万円	0万円	8,387万円	

※端数整理のため表内計等が一致しないものがあります。

■公営企業会計（水道事業会計）

	収益的収入	収益的支出	損益計算により
収益的収入及び支出	8億1,679万円	7億6,994万円	5,657万円

	資本的収入	資本的支出	不足額
資本的収入及び支出	1億6,156万円	4億1,012万円	▲2億4,856万円

※資本的収支不足額は、過年度分損益勘定留保資金及び消費税資本的収支調整額で補填しています。

歳入・歳出決算の状況を、地方財政統計上、統一的に用いられる普通会計によりグラフ化し説明します。

※普通会計：一般会計、宅地造成事業特別会計、土地取得特別会計を純計したものです。